



平成29年7月7日第59巻424号
発行所
東京都小学校音楽教育研究会
事務所
東京都渋谷区幡ヶ谷3-49-1
渋谷区立中幡小学校

共に学ぶ音楽教育

東京都小学校音楽教育研究会
副会長 飯島 満子
(世田谷区立九品仏小学校長)

平成29年度がスタートしてから、早いもので3ヶ月が過ぎました。各地区においては、今年度も様々な研究授業が行われていることと思います。

各授業では、子供たちが、思いや意図をもって主体的に表現したり味わって聴いたりすること、また、友達と関わりながら、共に音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさを見い出したりすることができるよう、学習過程・学習活動の工夫がなされていることと思います。

次期学習指導要領小学校音楽第2章2〔共通事項〕では、表現及び鑑賞の指導を通して、「音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。」「音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる身近な音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。」を身に付けることができるよう指導する、と示されています。

また、次期学習指導要領では、「曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する」ことが知識の習得に関する目標、「表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける」ことが技能の習得に関する目標として示されています。

子供たちが、心に描いた思いや意図を音楽として表現するためには、自分の音楽表現に必要な知識・技能を身に付けることが不可欠です。「この音楽のよさや面白さはどうやって創られているのか」ということを、音楽を形づくっている要素の働きと関連付けて教え、子供たちが実感を持った知識と技能を習得できるよう指導することが大切です。

そして、音楽的な要素がもたらすどのような働きを使えば、自身の思いや意図を伝えることができるのかを子供たちが自分の力で思考・判断し、主体的に表現を工夫したり味わって聴いたりすることや、友達と協働して、よりよい表現を創り出したり音楽の美しさやよさを享受したりすることができるようになれば、「主体的で対話的な深い学び」となり、音楽の喜びを得ることにつながるのではないかと思います。

全ての子供たちが、多様な音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせることができるよう、教師自身が、「音楽は音楽で理解すること」を念頭に感性を磨き、音や音楽と真摯に向き合い、自分の心の思いを一つの音に込めて表現したり聴いたりすることができるよう、主体的で対話的な深い学びを続けていきたいと思えます。

都小音研では、音楽科のそれぞれの専門分野での研究会が毎月行われています。学校に一人しかいない音楽専科として、自身の研鑽を深め学び続けていくために、ぜひ各種研究会に参加して、切磋琢磨する中で共に指導力を磨いていくことができればと思います。

今年度60周年の節目を迎えた都小音研、「つながる 深まる 音楽する喜び」の主題のもと、子供たちのために、共に歩んでまいりましょう。



都小音研研究大会 総武ゾーン大会

平成30年1月26日（金） タワーホール船堀

総武ゾーン大会研究部長 木村 めぐみ（墨田・第四吾嬬小学校）

1. 大会主題設定の理由

総武ゾーンでは、児童が音楽との出会いに心揺さぶられ、音楽への思いや意図をより明確なものにし、学んでいることの意味や価値を実感することが、主体的に学習に取り組む意欲や態度を育成することにつながるのではないかと考えた。また、友達と関わり合いながら考えを深め、自分の表現を豊かにし、より音楽を深く味わえるようにすることで、自らを高め、友達と共に音楽活動する喜びを味わわせたいと考えた。

そこで上記の願いから、大会主題を「**つなげる 見つける 私たちの音楽**」と設定した。

大会主題の「つなげる」とは、音楽との出会いから得た気持ちを思いや意図に「つなげる」、その思いや意図を表現に「つなげる」、そして学びを次の学習に「つなげる」ことである。例えば「旋律がだんだん高くなるから、気持ちが盛り上がっていったよ。最後の曲の山に向かって、声を遠くへ響かせていこう。」といった明確な考えをもち、その表現を実現させたとき、児童は学んでいることの意味や価値を改めて感じるだろう。そのような経験を通して、「他の曲ではどうなっているかな」「もっと試してみたい」と次の学びへ意欲をつなげていくと考える。

「見つける」とは、学んでいることの意味や楽しさを実感しながら学びを深め、自分にとって価値ある音楽を「見つける」ことである。友達の考えを知り、自分の思いを深めてつくり出した音楽が、児童にとって価値ある音楽となる。「こんな工夫をしたら面白かった」「〇〇さんの意見を試したら音楽が素敵になった」という経験から、自分が分かったことを使って「もっと続けたい」「他の曲でも確かめたい」と、次の学びに向かう姿が見られる授業を実現したい。このように、友達と共に音楽活動をする喜びを味わい、学びを深めながらつくり出した音楽が「私たちの音楽」である。

以上のように、主体的・協働的に学ぶ児童を育成したいと考え、目指す児童像は、次の2つとした。

- 学びの意味や価値を実感しながら主体的に音楽活動をする子
- 友達と学び合って考えを深め、豊かな表現を求める子

2. 研究の内容

視点1 主体的に音楽活動に取り組むための指導の工夫

- (1) 聴き取り感じ取ったことを自分の表現や聴き方につなぐための指導の工夫
- (2) 学習の見通しをもち、自ら進んで学ぶための指導の工夫

児童が学習の見通しをもち、主体的に学んでいくことができるように、総武ゾーンでは学習過程を考えた。なお、この学習過程は一方向に進むとは限らず、学習によってはある過程を行きつ戻りつしながら「見つける」へ深まっていくと考えている。

視点2 友達と学び合い、考えを深め表現を高めるための学習活動の工夫

- (1) 意見や音楽表現を交流する場の工夫
- (2) 自己評価と相互評価の工夫

視点3 学びを次の学習につなげるための指導計画と評価の工夫

- (1) 領域・分野をつなぐ題材構成の工夫
- (2) 評価の工夫

都小音研 創立60周年に寄せて

名誉役員 大川 彰（豊島・巣鴨小学校）

東京都小学校音楽教育研究会は、それまで都で独自に活動していた3つの小学校音楽教育研究団体、東京都音楽教育研究会・日本音楽研究会・多摩音楽研究会が一つにまとまって設立されました。昭和33年10月16日に中央区立京橋昭和小学校において結成大会が行われ、今年度で創立60周年という節目の年を迎えました。この年度の翌年1月には、会報「都小音研」第1号が創刊されました。都小音研総会研究大会も毎年開催され、今年度の総武ゾーン研究大会は第60回となります。ここまで続けてくることができたのは多くの先輩方による計り知れない努力と都小音研会員のみなさまの音楽科教育に対する思いと組織力の強さだと感じております。事業部が主に運営している児童作曲コンクールも54回となりました。当初サークルという名称で始まった各種研究会は徐々に多くなり、現在では10の研究会によって研究・研修活動が進められています。子供たちが生涯を通して音楽に関わり、音楽を愛する心を持ち、音楽を楽しむ心を育てるために諸先輩方の熱い思いでつくられた都小音研への気持ちを思いながら、11月26日(日)に予定しております周年記念式典や祝賀会に向けて、毎月実行委員会を行い準備をしているところです。例年の会報10月・12月号を合併し、広報部、調査部に協力していただき創立60周年記念号として発行の予定です。

都小音研の先輩先生が常々口にされていた言葉を思い出します。

「駕籠に乗る人担ぐ人、そのまた草鞋をつくる人」。

東京都小学校音楽教育研究会 創立60周年記念 児童作曲コンクールについて

事業部

児童作曲コンクールは、本年度で第54回を迎え、本研究会の歴史ある事業となっております。音楽で思いや願いを表現する子供たちの作品がたくさん生まれることを楽しみにしております。応募要項（6月理事会にて配布）をご覧のうえ、ぜひ奮ってご応募ください。たくさんのお待ちしております。

- (A) 課題詩の部 「ふわり キラリ」 鼻和 多恵子 詩
「とまらない とまらない」 北野 千賀 詩
- (B) 自由作品の部（自由旋律） (ア) 旋律のみのもの（自作の詩は可）
(イ) 伴奏等がついたもの

- ◇作品受付期間 平成29年9月1日(金)～9月15日(金)〈必着〉
◇授賞式・入選作品演奏発表会 平成30年2月16日(金) 会場：カスケードホール(千代田区)
◇作品応募に関する問い合わせ・応募先

都小音研のホームページから本コンクールの応募要項・五線紙などをプリントアウトすることもできます。どうぞご活用ください。

【児童作曲コンクール事務局】

足立区立花保小学校（藤井 小百合）
〒121-0062 足立区南花畑2-19-1
TEL 03-3885-7335
FAX 03-3885-7336

都小音研ホームページ

(都小音研でも検索可)

<http://www.tosyouonken.com>

各種研究会代表者会議 報告

研究部長 石井 ゆきこ (港・芝小学校)

6月6日、練馬区立向山小学校で都小音研各種研究会代表者会議が行われました。

各種研究会は都小音研会員による自主的なグループ研究が発足、継続、発展し、組織されたものです。音楽科の様々な領域、分野の専門的な研究会が10もあるのは都小音研ならではのことで、他県からも注目を浴びています。

代表者会議では各研究会より、昨年度の活動及び今年度の活動計画等が報告されました。どの研究会も会員の課題意識に基づき、熱心に研究に取り組んでいることが伝わってきました。また、平成30年度 都小音研大会、平成31年度 全日音研総合大会では、各種研究会のご協力を得て新教育課程の方向性を見据えた研究発表を行う予定のため、それぞれの研究会でどのような取組ができそうか、ご意見をいただきました。

各種研究会は、一校にほぼ一人しかいない音楽専科教諭が、自らの指導力や専門性を高める貴重な場を提供しています。日々の授業や音楽指導で悩みの多い若い先生には、信頼のおける先輩や励まし合う仲間と出会う場になることでしょう。ぜひ多くの先生方にご参加いただき、それぞれの研究が益々、発展していくことを願っております。

平成29年度 都小音研

夏季研修会のお知らせ

編曲研究会

編曲研究会は、会員それぞれが授業や学校行事のために編曲した楽譜を持ち寄って検討会をします。可能であれば、リコーダーで音を出したり、歌ったりします。今年度は、ATN公認・プライベートショールームにて、7月27日(木)・28日(金)に行います。

河合 智典 (文京・柳町小)

音楽授業研究の会

今年度のテーマは『子どもが主体性・創造性を発揮して学ぶことができる学習過程の構築』教材研究から評価まで、徹底して検討します。

◎日時：8月9日(水)・10日(木) 全日

◎会場：練馬区立南町小学校

熊倉 佐和子 (練馬・関町北小)

管楽器研究会

管楽器研究会では、8月4・5日の2日間、目黒区立駒場小学校において、毎年恒例の管楽器夏季ゼミナールを開催します。専門家を講師に招き「明日からの管・打楽器の指導にすぐ生かせる」を目的に、実技研修をしたり、指導の基礎知識を習得したりします。『楽しく体験、新たに発見、明日から実践!』会員以外の先生方も、ぜひこの機会にご参加ください。

植田 美香 (目黒・駒場小)

鑑賞指導研究会

8月3日(木) 江東区立川南小学校、13:00受付開始、13:30開講、16:45閉講。明星大学教授の阪井恵先生から「音色」に関する指導、特別支援が必要な児童を含めたユニバーサルデザインの授業についてご講演いただきます。締め切りは7月18日(火)、詳細は別途配布のプリントをご参照ください。長谷川 真澄 (江東・川南小)

邦楽教育研究会

邦楽研では、定期的な和楽器の実技研修、和楽器を活用した授業研究を行っています。8月1日(火)には、恒例の夏季実技研修会を行います。箏、三味線、篠笛、和太鼓、能楽の初歩の奏法から授業に使える楽曲(能楽は舞)などを予定しています。ぜひご参加ください。

染谷 美由紀 (荒川・瑞光小)

♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈5月理事会〉 5/18 於：中幡小学校

議長：荻野 麻衣 (渋谷・幡代小)

○会長あいさつ

○平成29年度運営組織について

○議 事

●今年度の事業計画について

●6月の行事予定について

●平成29年度 総会・研究会の反省

●平成29年度 都小音研 総武ゾーン大会について

●各部より *庶務 *会計 *研究

*事業 *調査 *広報

○各区市理事の自己紹介

〈6月理事会〉 6/15 於：中幡小学校

議長：野中 美穂 (あきる野・多西小)

○会長あいさつ

○議 事

●7・8月の行事予定について

●平成29年度 総武ゾーン大会について

●第54回児童作曲コンクールについて

●学ぶ理事会について

●歓送迎会について

●各部より *庶務 *会計 *研究

*事業 *調査 *広報

編集後記

もうすぐ夏休みです。各種研究会や各市区町村、研修センターなどで、ゆったり、じっくり学びたいですね。そして1学期の疲れを癒やし、心と体をリフレッシュし、充実した夏休みを過ごしましょう！ (I)

会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 早川 修一

編集：広報部

印刷：コウシン 03-3324-9288